

✓ 当社では、原子力災害が発生した際に、国や関係自治体と連携し、被災者支援活動を行います。
自治体の避難退域時検査訓練等に参加し、緊急時の対応能力の更なる向上に努めています。

当社の被災者支援活動

項 目	具 体 的 内 容
輸送力に関する協力	バス、福祉車両、ヘリ、船舶の提供
避難退域時検査の支援	・約800名の要員の支援 ・原子力事業者間の支援により放射線防護資機材を提供 （不足する場合は非発災発電所より可能な範囲で確保）
放射線防護施設の提供	放射線防護機能を付加した社員研修施設の宿泊棟を 避難により健康リスクが高まる方の受入れ箇所として提供 （原子力研修センター宿泊棟：約160名収容）
生活物資の支援	食料品：59,600食 飲料水：14,000リットル 毛 布：1,300枚

※「高浜地域の緊急時対応」（2015.12.18）、「大飯地域の緊急時対応」（2017.10.27）、
「美浜地域の緊急時対応」（2021.1.8）の原子力防災会議了承による。

住民の皆さまの避難の際に必要な輸送力の提供

避難行動要支援者を含めた住民の皆さまの避難の際に必要な輸送力として、当社従業員送迎バスや福祉車両の提供、ならびに協定を締結しているヘリや船舶も活用することとしています。



避難退域時検査における協力体制・対応

UPZ圏内からの避難者に対する避難退域時検査について、自治体からの要請に基づく支援協力として、避難退域時検査要員の派遣並びに検査に必要な資機材（汚染サーバイメータやタイベックスーツ等の提供を行います。

【2024年度 避難退域時検査訓練への当社派遣実績】

実施年月	実施主体	避難退域時検査 訓練場所	当社 派遣数
2024年10月	福井県	敦賀市総合運動公園 綾部PA・あやべ球場	59名※1
2024年11月	岐阜県	揖斐川健康広場	22名
2024年11月	滋賀県	今津総合運動公園	10名※2
2024年12月	京都府	丹波自然運動公園	38名※3

※1:若狭地域原子力事業者支援連携に基づく原電、JAEAからの8名支援含む

※2:若狭地域原子力事業者支援連携に基づく原電、JAEAからの2名支援含む

※3:若狭地域原子力事業者支援連携に基づく原電、JAEAからの4名支援含む

<活動の様子>



福井県原子力総合防災訓練への参加

原子力災害が発生した際に、住民の皆様の避難に係る協力が的確に行えるよう、国や関係自治体と連携し、実動要員の訓練を実施しています。

【2024年 福井県原子力総合防災訓練への参加概要】

実施日 2024年10月25日、26日（住民避難訓練は26日のみ）

場 所 福井県内（大飯原子力防災センター、避難退域時検査所、避難所）

概 要 大飯原子力防災センターでの運営訓練、住民避難訓練(当社は福祉車両を運行、避難所支援、避難退域時検査訓練)に参加



合同対策協議会



事業者対策本部



福祉車両運行



避難所支援要員派遣